

人口ビジョン(平成28年3月)より抜粋

1 丹波市の人口動向分析

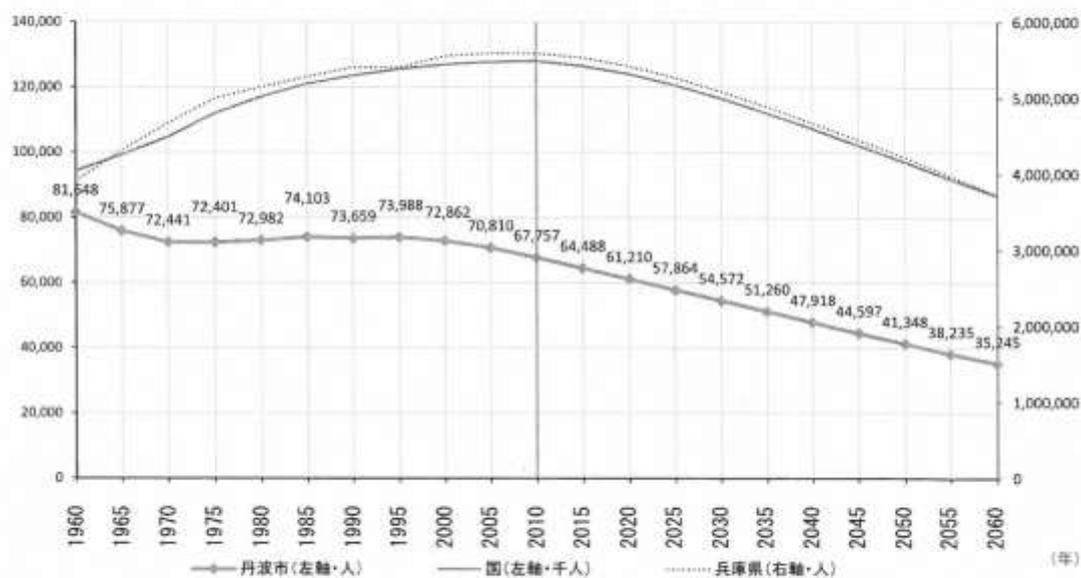
1-1 総人口の推移

(1) 総人口の推移と将来推計

- ・1960年代から1970年代の高度経済成長期には都市部への人口流出があり、総人口は減少。
- ・1970年から1995年にかけてはほぼ横ばいで推移し、1995年をピークに2010年にかけて総人口は減少を続けており、社人研の推計によれば、今後も人口は減少し続ける。
- ・2040年には47,918人になり、2010年より29.3%の減少、2060年には35,245人となり2010年より48.0%減少すると推計される。

総人口の推移と将来推計

(丹波市:人/国:千人)



【出典】

2010年までは国勢調査、2015年以降は内閣府提供データ(社人研「日本の地域別将来推計人口」)を利用

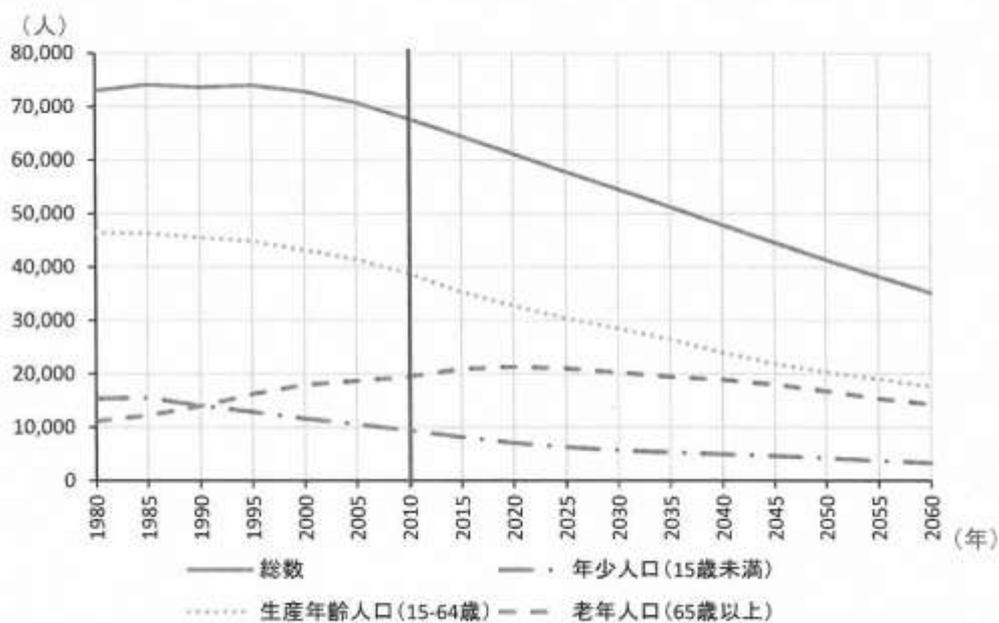
人口ビジョン(平成28年3月)より抜粋

(2) 年齢3区分別人口の推移と将来推計

- ・ 老年人口は、1980年から2015年にかけて増加しているが2020年をピークに減少すると推計される。
- ・ 生産年齢人口は、1980年から1995年にかけてゆるやかに減少していたが、2010年より減少の割合はさらに大きくなり、今後も減少が続く。
- ・ 年少人口は、1985年から一貫して減少を続けており、今後も減少が続く。

* 人口統計データの推移については、1980年以降の数値を載せて、推移の分析を行っている。(以下同様)

年齢3区分別人口の推移と将来推計



【出典】2010年までは国勢調査、2015年以降は内閣府提供データ(社人研「日本の地域別将来推計人口」)を利用